

平成26年度学術情報リテラシー教育担当者研修

グループ討議成果物

学生への効果的な学修支援を目指して ～図書館外との協働を視点に～

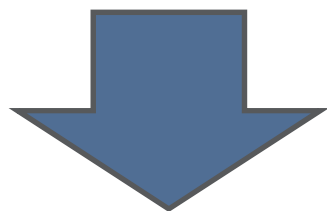
テーマ： C 連携協力 / 4班

発表日：2014/11/28

会場：国立情報学研究所

現状

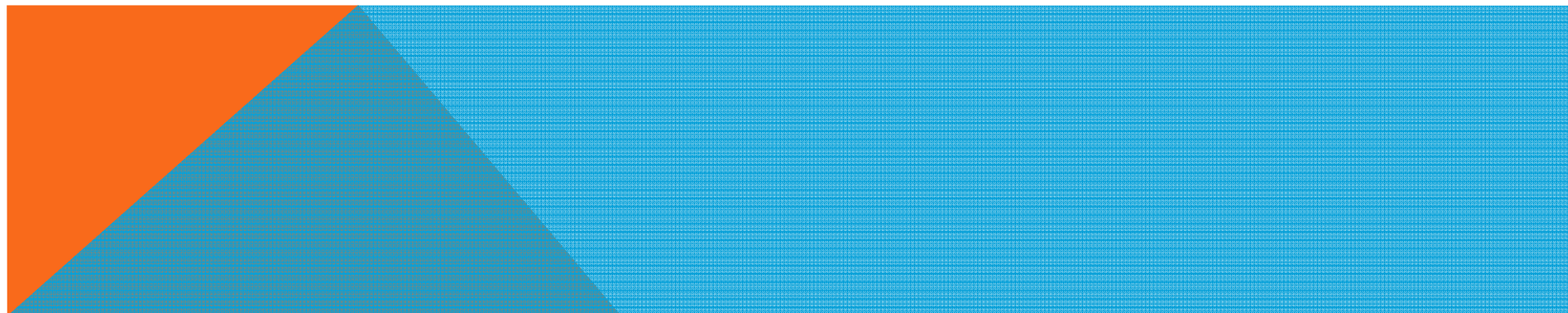
ニーズに合った講習会ができていない



ニーズを捉えた講習会
効果的な学修支援

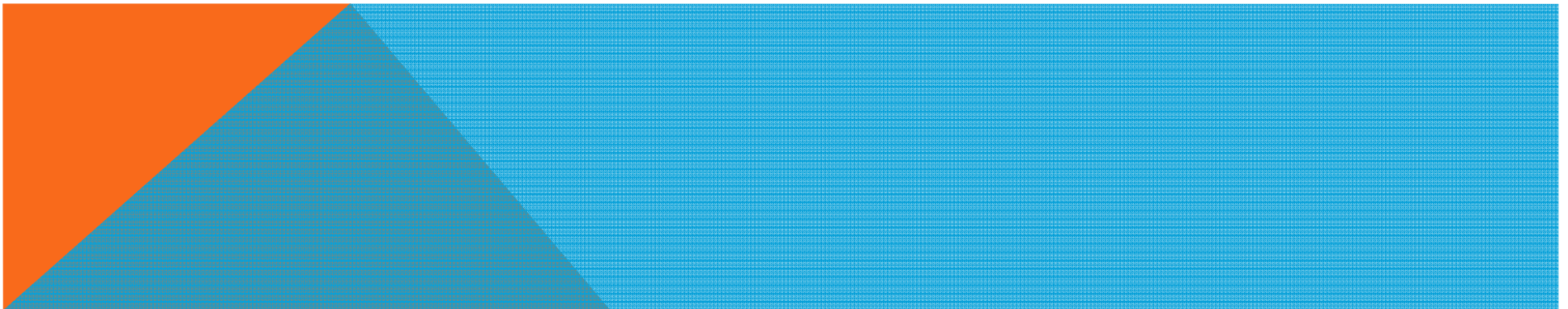


をしたい！



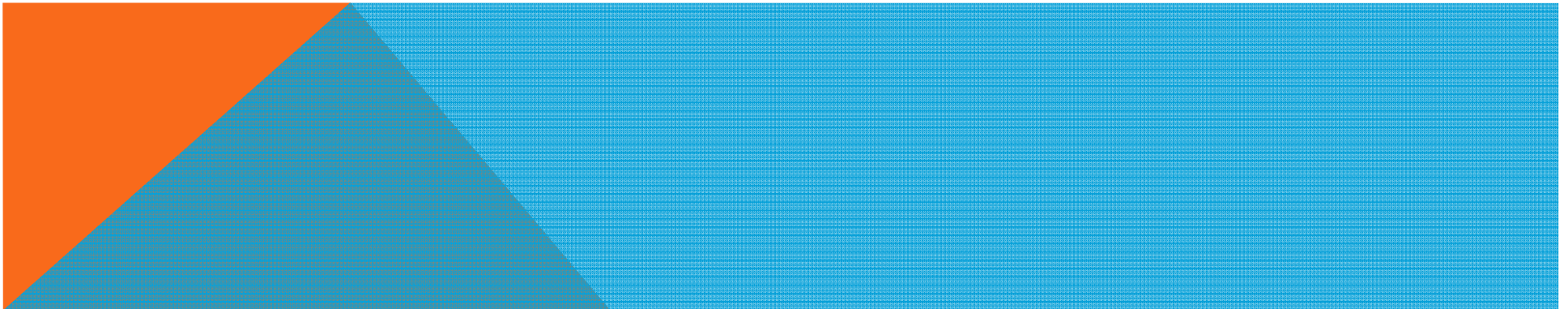
なぜできていないのか？

- 人手不足
- 学生・教員のニーズがわからない
- 物理的な問題
(図書館のキャパシティなど)
- 認識不足



解決策

- 情報の発信
- 他部署や教員との交流
- イベントの実施



行動計画（１）情報発信

- チラシ(A4 1枚)のポスティング
- Webページ(教職員専用ページへの掲載など)
- TwitterなどSNS
- 教職員一斉メール

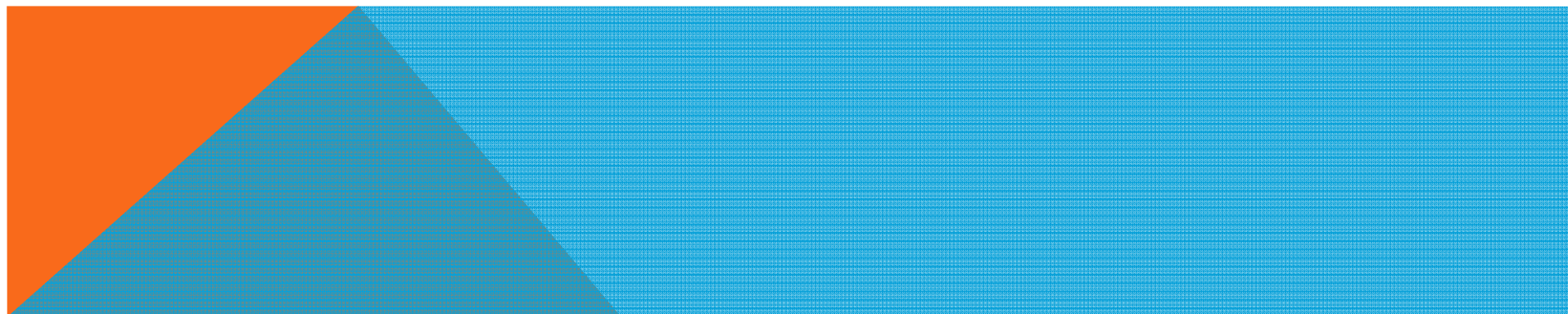
たとえば

- 図書館の活動を定期的に
- イベントの案内
- アンケートを取る

行動計画（２）

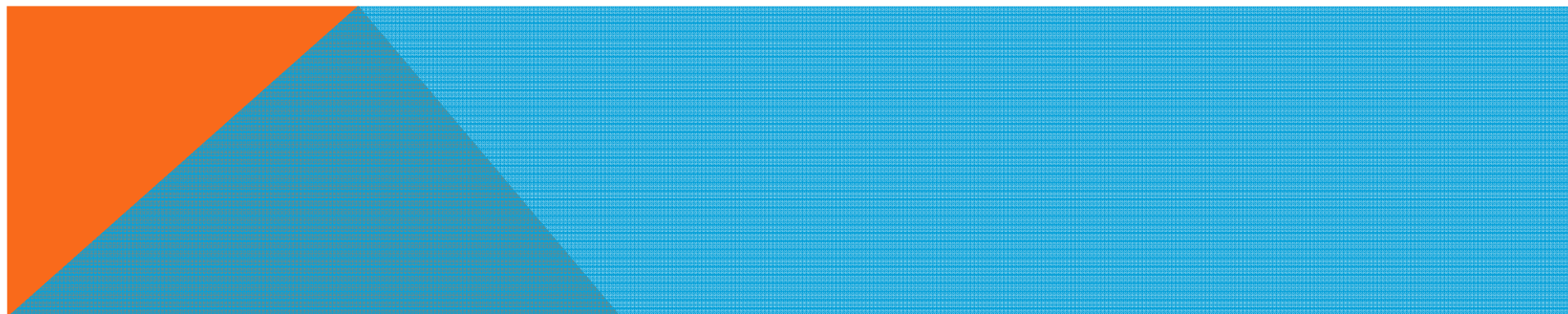
他部署や教員との交流

- 相手を知る
- 積極的に学内イベントに出る
- 館内外で積極的に声をかける



行動計画（3） イベントの実施

- 教職員向け（図書館主催）
- 他部署と共催



最後に

- 行動に移した結果得られたニーズを学修支援に活かす
- 職員自身の研鑽も忘れずに！

ありがとうございました。

